



ソフトウェア・ツール

# NetSetter

---

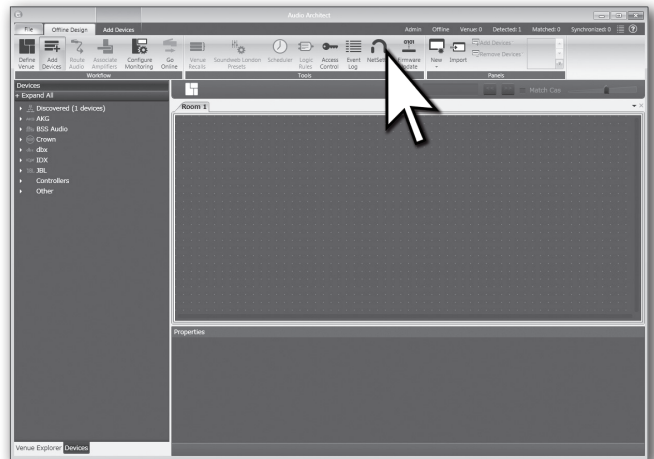
ユーザーガイド

## ■ NetSetter

### ▶ 概要

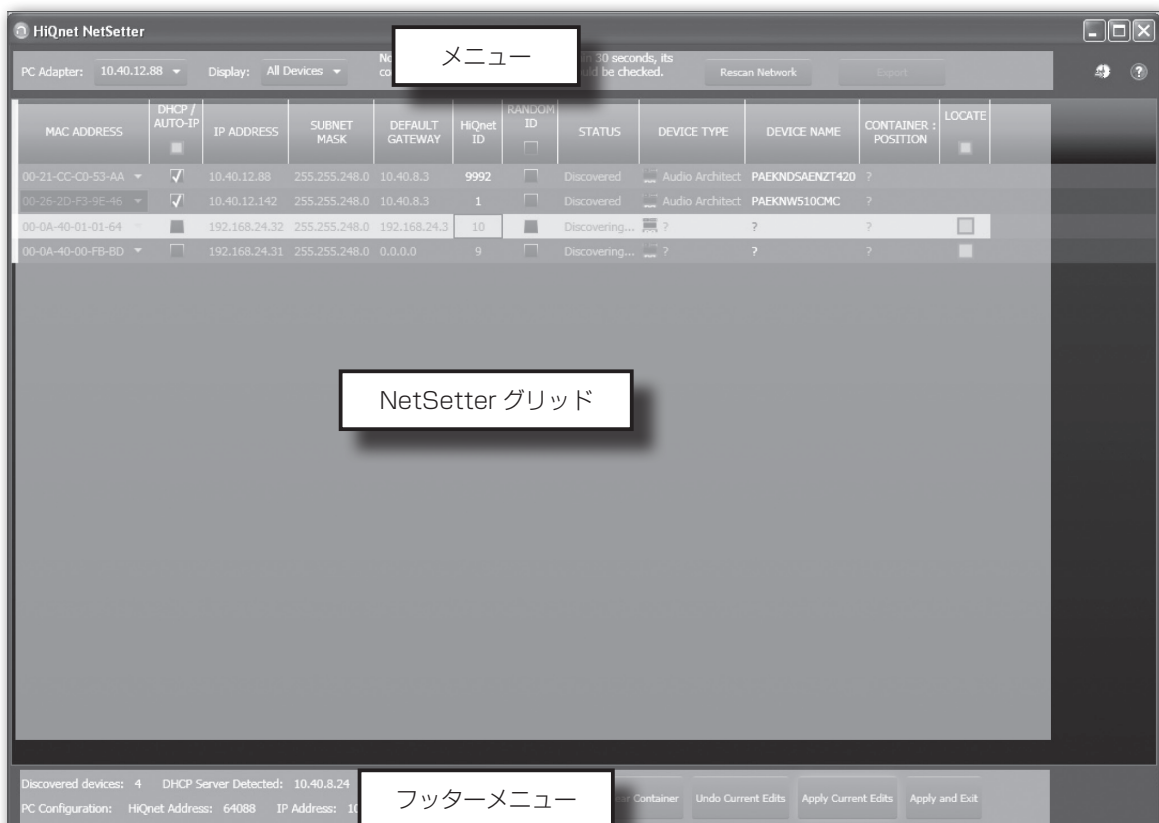
NetSetter は、ネットワーク上の HiQnet 対応機器を検出し、各機器のネットワーク設定をリアルタイムで更新するソフトウェア・ツールです。同じネットワークに組み込む機器の競合などの問題を素早く簡単に解決できます。

Audio Architect を起動すると、画面上部のメニューに NetSetter の起動ボタンがあるのでクリックしてください。操作ウィンドウが開きます。



### ▶ 操作ウィンドウの各部の名称と機能

操作ウィンドウはメニュー、フッターメニュー、NetSetter グリッドの3つのパートで構成されています。



## メニュー（操作ウィンドウ上部）



### 1.[PC Adapter]

HiQnet 対応機器の検出に使用するネットワーク・インターフェース・カード（NIC）アダプターを選択するドロップダウン・メニューです。使用可能な全ての NIC が IP アドレス別にリストされます。新しい NIC を選択すると、その NIC が接続されているネットワークが再スキャンされます。

### 2.[Display]

検出された機器を NetSetter グリッドに表示する表示フィルターを選択します。以下の基準があります。

- All Devices：検出された機器を全て表示します（デフォルト）。
- HiQnet ID conflicts：HiQnet アドレスが競合する機器のみを表示します。
- IP address conflicts：IP アドレスが競合する機器のみを表示します。
- All conflicts：HiQnet アドレスまたは IP アドレスが競合する機器のみを表示します。
- Locked：Locked 設定の機器のみを表示します。
- Discovering：検出中の機器のみを表示します。
- Discovered：競合のない機器を表示します。
- DHCP / Auto IP：DHCP / Auto-IP がオンである機器を表示します。

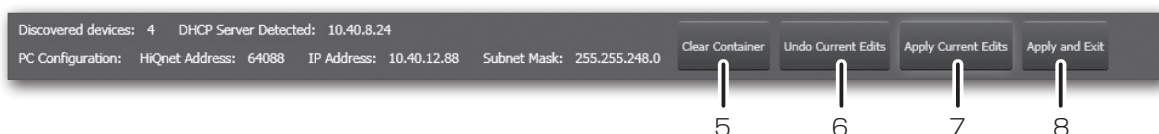
### 3.[Rescan Network]

現在選択されている NIC が接続されているネットワークを再スキャンします。

### 4.[Export]

このボタンをクリックすると [Save As] ウィンドウが開き、ネットワーク上の全ての機器の HiQnet アドレスおよび IP 設定を CSV 形式で保存できます。保存した情報は、Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアで開くことが可能です。

## フッターメニュー（操作ウィンドウ下部）



### 5.[Clear Container]

選択した機器の会場データ（コンテナおよび位置）をリセットします。この操作は、[Apply Current Edits] または [Apply and Exit] をクリックした時に適用されるため、[Undo Current Edits] ボタンで変更を取り消すことが可能です。

### 6.[Undo Current Edits]

NetSetter グリッド内の未確定の編集内容をネットワーク上の現在値にリセットします。

## 7.[Apply Current Edits]

NetSetter グリッド内の未確定の編集内容を確定します。機器が更新された後、NetSetter との接続が再確立されます。

## 8.[Apply and Exit]

NetSetter グリッド内の未確定の編集内容を確定し、保存します。機器が更新された後、HiQnet との接続が再確立されます。

## NetSetter グリッド (操作ウィンドウ中央)

NetSetter グリッドは、ネットワーク上に検出した機器の情報を表示します。それぞれの機器に対し以下の 12 のフィールド (項目) に値を表示します。

フィールドの値を変更したら、必ずフッターメニューの「Apply Current Edits」または「Apply and Exit」ボタンをクリックして、編集内容を適用してください。

| 9                 | 10                                  | 11            | 12            | 13              | 14        | 15                       | 16             | 17              | 18              | 19                   | 20                       |
|-------------------|-------------------------------------|---------------|---------------|-----------------|-----------|--------------------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------------|--------------------------|
| MAC ADDRESS       | DHCP / AUTO-IP                      | IP ADDRESS    | SUBNET MASK   | DEFAULT GATEWAY | HiQnet ID | RANDOM ID                | STATUS         | DEVICE TYPE     | DEVICE NAME     | CONTAINER : POSITTON | LOCATE                   |
| 00-21-CC-C0-53-AA | <input checked="" type="checkbox"/> | 10.40.12.88   | 255.255.248.0 | 10.40.8.3       | 9992      | <input type="checkbox"/> | Discovered     | Audio Architect | PAEKNDSAENZT420 | ?                    | <input type="checkbox"/> |
| 00-26-2D-F3-9E-46 | <input checked="" type="checkbox"/> | 10.40.12.142  | 255.255.248.0 | 10.40.8.3       | 1         | <input type="checkbox"/> | Discovered     | Audio Architect | PAEKNW510CMC    | ?                    | <input type="checkbox"/> |
| 00-0A-40-01-01-64 | <input type="checkbox"/>            | 192.168.24.32 | 255.255.248.0 | 192.168.24.3    | 10        | <input type="checkbox"/> | Discovering... | ?               | ?               | ?                    | <input type="checkbox"/> |
| 00-0A-40-00-FB-BD | <input type="checkbox"/>            | 192.168.24.31 | 255.255.248.0 | 0.0.0.0         | 9         | <input type="checkbox"/> | Discovering... | ?               | ?               | ?                    | <input type="checkbox"/> |

## 9.[MAC ADDRESS]

検出された機器の MAC アドレスを表示します。このフィールドは編集できません。

1 台の機器に対して複数の MAC アドレスが検出された場合 (HiQnet 対応機器 MAC アドレス、AVB カード MAC アドレスなど)、ドロップダウン・リストで表示され、接続先の MAC アドレスの選択が可能です。

2 つのコントロール MAC アドレスで同じコントロール・ネットワークに接続された機器の場合、[MAC ADDRESS] フィールドは赤色で表示されます。

## 10.[DHCP / AUTO-IP]

DHCP / Auto-IP のオン、オフができます。このフィールドは編集が可能です。

検出された機器が DHCP / Auto-IP を使用するよう設定されていると、このフィールドのチェックボックスがオンになります。チェックを外すと、DHCP / Auto-IP を使用しない設定になります。オンにした機器は編集内容の適用時に DHCP による IP 設定を試み、DHCP サーバーが存在しない場合は Auto-IP による IP 設定を試みます。

### 備考

- » 一番上のチェックボックスは、NetSetter グリッドに表示されている全ての行のチェックボックスを一括でオンまたはオフにします。
- » DHCP サーバーの状態は、ウィンドウの下部に表示されます。DHCP サーバーが見つからない場合、「DHCP server not detected」というメッセージが表示されます。

### 11.[IP ADDRESS]

検出された機器の IP アドレスを表示します。このフィールドは編集が可能ですが、DHCP / Auto-IP がオンの場合は編集できません。

編集した値が、現在の表示フィルターの範囲から外れた場合は、機器は表示されなくなります。以前に検出された機器と IP アドレスが競合する機器は、赤色で表示されます。

### 12.[SUBNET MASK]

検出された機器のサブネット・マスクを表示します。このフィールドは編集が可能ですが、DHCP / Auto-IP がオンの場合は編集できません。

フィールドの編集が正常に完了すると、現在の列の順序に従って行が並び替えられますが、行は選択された状態のまま表示されます。

### 13.[DEFAULT GATEWAY]

検出された機器のデフォルト・ゲートウェイを表示します。このフィールドは編集可能ですが、DHCP / Auto-IP がオンの場合は編集できません。

フィールドの編集が正常に完了すると、現在の列の順序に従って行が並び替えられますが、行は選択された状態のまま表示されます。デバイスの再検出中は、機器が非選択状態の時は薄いグレーで、機器が選択状態（オレンジ色でハイライトされた状態）の時は濃いグレーで表示されます。

### 14.[HiQnet ID]

検出された機器の HiQnet アドレスを表示します。このフィールドは編集可能です。

編集した値が、現在の表示フィルターの範囲から外れた場合は、機器は表示されなくなります。

検出された機器の HiQnet アドレスが競合している場合、HiQnet ID のフィールドがピンク色で表示されます。選択状態（オレンジ色でハイライトされた状態）の機器は、HiQnet ID フィールドが赤色で表示されます。

HiQnet アドレスを表示できない場合は、ダッシュ（「-」）が表示されます。

#### **備考**

- » IP レベルで検出できない機器（無効な IP アドレスなど）は、HiQnet アドレスを報告できません。その場合、HiQnet ID フィールドに「？」が表示されます。これは、該当の値が存在する可能性はあるものの、確認できないことを表します。

## 15.[RANDOM ID]

機器に割り当てる HiQnet アドレスをランダム ID に設定したい場合、RANDOM ID チェックボックスをオンにします。現在の変更内容を適用する前にチェックボックスをオフにすると、元の HiQnet アドレスに戻ります。

### 備考

- » 一番上のチェックボックスは、NetSetter グリッドに表示されている全ての行のチェックボックスを一括してオンまたはオフにします。
- » IP レベルで検出できない機器 (IP アドレスが無効な場合など) は、HiQnet アドレスを報告できません。この場合、RANDOM ID のチェックボックスは使用できません。

## 16.[STATUS]

機器の現在の検出ステータスを表示します。このフィールドは編集できません。

検出ステータス階層は、以下のとおりです。

- [Discovered] ..... 固有の IP アドレスと固有の HiQnet アドレスが設定されており、アクセスは制限されていません。非選択状態の時は緑色で表示されます。「Discovered」状態は、以下の条件に基づいて判定されます。
  - MAC アドレス・レベルで検出可能である。
  - 有効かつ固有の IP アドレスが設定されている (手動設定または DHCP / Auto-IP)。
  - 固有の HiQnet アドレスが設定されている。
  - アクセスが制限されていない。
- [IP conflict] ..... IP アドレスが競合しています。このエラーは、他のステータス通知に関係なく表示され、非選択状態の時は青色で表示されます。「IP conflict」状態は、以下の条件に基づいて判定されます。
  - MAC アドレス・レベルで検出可能である。
  - NetSetter によって以前に検出された別の機器と IP アドレスが競合している。
- [HiQnet conflict] ... 固有の IP アドレスは設定されていますが、HiQnet アドレスが競合しています。このエラーは、他のステータス通知に関係なく表示され、非選択状態の時は赤色で表示されます。「HiQnet conflict」状態は、以下の条件に基づいて判定されます。
  - MAC アドレス・レベルで検出可能である。
  - 有効かつ固有の IP アドレスが設定されている (手動設定または DHCP / Auto-IP)。
  - NetSetter によって以前に検出された別の機器と HiQnet アドレスが競合している。

- [Locked] .....固有の IP アドレスと固有の HiQnet アドレスが設定されていますが、アクセスは制限されています。非選択状態の時は黄色で表示されます。「Locked」状態は、以下の条件に基づいて判定されます。
  - MAC アドレス・レベルで検出可能である。
  - 有効かつ固有の IP アドレスが設定されている（手動設定または DHCP / Auto-IP）。
  - 固有の HiQnet アドレスが設定されている。
  - アクセスが制限されている。

#### 【備考】

- » 機器が Locked 状態で検出された場合、いずれかのフィールドを初めて編集しようとする際、Admin パスワードの入力を要求されます。
- » 編集内容の適用後（Admin パスワードの入力を再び要求されます）、再検出によってこの状態のリセットが必要になる場合があります。

- [Discovering] ..... IP 設定または HiQnet アドレスが変更されており、NetSetter が接続の再確立を待機中です。再検出中の機器が非選択状態の時、その行のフィールドは薄いグレーで表示されます。「Discovering」状態は、以下の条件に基づいて判定されます。
  - 以前に少なくとも MAC アドレス・レベルで検出されている。
  - 1 つ以上のフィールドが編集されている。
  - 現在の編集適用後の再検出中である。

フィールドを更新するとソート順序が自動的に更新されるため、再検出された機器は同じ行に表示されます。ただし、現在の編集内容の適用前に DHCP / Auto-IP または Random ID を設定した場合、再検出された機器は現在のソート順序に従って表示されます。

## 17.[DEVICE TYPE]

検出された機器によって報告された機器クラス名を表示します。このフィールドは編集できません。

各機器クラス名の左側にブランド・アイコンが表示されます。検出された機器が HiQnet ソフトウェアの System Architect、Performance Manager、London Architect のいずれかのインスタンスを実行している PC である場合、そのソフトウェア・アプリケーション名が表示されます。

#### 【備考】

- » IP レベル（無効な IP アドレスなど）または HiQnet アドレス・レベル（HiQnet アドレスの競合など）で検出できない機器は、クラス名を報告できません。その場合、DEVICE TYPE フィールドに「？」が表示されます。これは、該当の値が存在する可能性はあるものの、確認できないことを表します。

※値がヌル (null) の場合、フィールドは空欄または「-」が表示されます。

## 18.[DEVICE NAME]

検出された機器によって報告された機器名（ユーザー定義可能）を表示します。このフィールドは編集可能ですが、検出された機器が HiQnet ソフトウェアのインスタンスを実行している PC である場合は編集できません。

### 備考

- » IP レベル（無効な IP アドレスなど）または HiQnet アドレス・レベル（HiQnet アドレスの競合など）で検出できない機器は、機器名を報告できません。その場合、DEVICE NAME フィールドに「?」が表示されます。これは、該当の値が存在する可能性はあるものの、確認できないことを表します。

※値がヌル (null) の場合、フィールドは空欄または「-」が表示されます。

## 19.[CONTAINER : POSITION]

検出された機器によって報告された会場データ（コンテナおよび位置）を表示します。このフィールドは編集できません。

検出された機器が HiQnet ソフトウェアの System Architect、Performance Manager、London Architect のいずれかのインスタンスを実行している PC である場合、このフィールドは空白のままです。

[Clear Container] ボタンを押すと、選択されている機器の会場データ（全ての建物、フロア、および部屋データ）を消去します。消去は編集内容の適用時に実行されるため、[Undo Current Edits] ボタンで変更を取り消すことが可能です。

※値がヌル (null) の場合、フィールドは空欄または「-」が表示されます。

## 20.[LOCATE]

[LOCATE] をクリックすると、ネットワーク上の対応する機器がロケート状態になり、LOCATE アイコンが表示されません。

- アクティブな LOCATE アイコンをクリックすると、ロケート状態がオフになります。
- ロケート状態をオフにすると LOCATE アイコンが消えます。
- 選択とは関係なくロケート状態にできるため、同時に複数の機器のロケートが可能です。